



新型コロナウイルスにまけないために みんなで協力しよう

学校での主な取り組み

- ① 毎朝、教室に入る前に教員が健康チェックをします。
- ② 教職員も毎日健康チェックを行います。
- ③ 登校後、発熱などの風邪症状を確認した場合は、別の部屋で対応します。
- ④ 教室では窓を開けて、常に換気を行います。
(エアコン使用時には、換気扇で換気を行い、休み時間には窓を開けて換気をします)
- ⑤ 多くの子どもたちが触れる箇所は、1日1回以上、消毒をします。
- ⑥ 活動ごとにこまめに手を洗うよう指導します。また手洗い場の石けんがなくならないよう点検します。
(流水と石けんで丁寧に手洗いを行うことで感染予防に効果があります)
- ⑦ 自宅を出る時から帰宅するまで、原則マスクを着用するよう指導します。(熱中症等の心配がある時は外すようにします)
- ⑧ 給食を食べるときは、前を向いて会話を控えるようにします。
- ⑨ 子どもたちどうしの間に距離を確保するとともに、活動時間に配慮し、密集・密接にならないよう工夫します。
- ⑩ 偏見や差別・いじめが生じないよう十分に配慮します。

家庭での取り組み

- ① 毎朝、必ず検温と健康観察(健康観察カードへの記入)をしましょう。
- ② 発熱や風邪症状がある場合は、休みましょう。
(欠席にはなりません)
- ③ 毎日、きれいなマスクやハンカチ、ティッシュ、マスクを置くためのビニールやハンカチを用意しましょう。
- ④ 毎日、家を出てから帰ってくるまで、必ずマスクをつけましょう。
- ⑤ 登下校の時は、安全に気をつけ、人との距離をとりましょう。
- ⑥ 登校前後、食事の前後、トイレの後などは、必ず石けんで手を洗う習慣をつけましょう。
- ⑦ 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事など、免疫力を高める生活を心がけましょう。



※不安なことや困ったことがあるときは、おうちの人や先生に相談しましょう。